
Perfect World

ヴァレンティン仮面

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

P e r f e c t W o r l d

【Nコード】

N 4 8 1 6 F

【作者名】

ヴァレンティン仮面

【あらすじ】

燃え盛る戦火の中、唯一誰かを護る為、一人で戦う孤独な兵士の物語。

Prologue

N・A・(New Age) 252年

世界は5回目の世界大戦へ突入し、それによって人口は1/4にまで減少。

もはや戦う事でしか平和を見いだせなくなっていた。

軍により全ての人間は

ID登録が義務付けられ

IDタグによって管理され

ID情報によって統制される

もはや人は人ではなく

一部の戦争屋と呼ばれる資産家の
兵士としての道具でしかなかった

そんな中で

誰もがその名を知る 伝説の兵士と呼ばれる人物がいた。
“ガイル”フリード”

年齢 所属 一切不明
しかし

噂によると約50年も前から
その姿を変えず、

何処からともなく前線に現れ、
どちらかに気まぐれに加担し
瞬く間に敵を全滅させるという。

兵士達のあいだでは

C a p r i c i o u s S a t a n

とよばれる神のような存在だった。

出会い

旧フランス領 マルセイユ

かつては海に近く

美しい港街だったこの場所も、戦場となっていた…

至る所から聞こえる銃声、断末魔、それを掻き消すような戦車のエンジン音。

ガイルはこういう雰囲気が嫌いだ。
だから全てを葬り去る。

美しき世界に戻す為に……………

いつものように手早く偵察、
いつものように素早く隠れる

いつものようにどちらに加担するか決めると
銃ホルダーから取り出し、弾を込める。

いつもならここで煙草を取り出し

一服する予定だが、今日はそうも行かない、
マッチが無い……………

『畜生……………』

声にも元気が無い

『仕方ない…行くか……』

腰をあげ、歩きだそうとした瞬間、
ガイルは激しく動揺した。

目の前に少女が立っている。

整った顔立ちで髪は金、

年はおそらく 十一〜二歳だろう。
そしてこちらへ微笑みかけている。

『はいっ』

少女がマツチを差し出し

こちらへ近づいてくる。

一歩……

銃声……

また一歩……

風に舞い上がる砂埃……

少女は近づいて来る。

ガイルは言い知れぬ違和感を感じ、

おそらく彼の人生で初めてであろう冷や汗をかいていた。

少女が歩みよってくるたびに、後ずさりしてしまう。

何故こんな戦場にこんな小さな女の子がいる？

そんなことで彼の頭はいっぱいだった。

『はい、おじさんマッチいるんでしょ？』
少女は目の前にいた。

『あ、ああ。ありがとう……』

少女の差し出したマッチを受け取る。

煙草に火を燈し、深く息をすい、口から煙を吐き出す。
彼なりの精神統一だ。

『私はルカ、おじさんは誰？』

『ガイル』フリード』

『ガイルっていうの？素敵なお名前……』

しばらくすると

ルカと名乗る少女は口を開いた。

『こつち、来て』

そういうと直ぐに走り出した

ガイルもそれに続くが

それでも少女はガイルを驚愕させた。

銃声が鳴り響き、弾の飛び交う戦場のど真ん中を突っ切って行く。
さながら戦場を駆ける天使といった所だった。

しばらく行くと銃声も遠くなり

廃墟となった工場後のような場所についた。

『こつちだよ』

ルカに呼ばれるまま中へ入る。

『ただいま』

少女の明るい声が建物内に響く、
奥には二十歳前後の青年と、十五、六歳とみられる少年がいた。

『ルカ、この人は？』

青年が口を開く。

『ガイルっていうんだって』

『ガイル？ 何処かで聞いた名だ…』

あんたまさか…ガイル…フリードか？』

『そうだ、そういうお前は誰だ？』

『失礼、俺の名はアルベルト・マーコス。Rって呼んでくれ、で、
そっちのボウズがバロンだ。よろしく』

『ああ、よろしく』

『なあ、あんた伝説の兵士なんだろ？俺達に協力してくれ』

『協力？俺は人とは組まない。

悲しい結末を見るだけだ…』

『俺達じゃこのマルセイユに攻めて来た、アンドロイド兵には勝て
ない。

でも、あんたが居ればこの腐った戦争を終わらせれる』

『わかって無いようだな。

今や戦争は商品だ

巨大な資金が動く市場だ

一部の資本家が暇つぶしにやる

「マネーゲーム」何だよ！

そいつらがいるかぎり戦争は無くならない」

「なら、何故あんたは戦う？」

「……………」

ガイルは答えることが出来なかった。

しばらくしてRが沈黙を破った

「ここにあのアンドロイド兵を送りこんだのは、ルチアーノ＝ブリ

デンス、この世界じゃ名の知れた戦争屋だ

そいつを殺せばその市場も変わる。

頼む、俺達に協力してくれ」

ガイルは何も言わずに頷いた。

これが後に世界に革命をもたらす4人の出会いである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4816f/>

Perfect World

2010年10月28日04時51分発行